

偉大なる自分

東京都・廣濟寺住職 渡邊宗樺

私たちは、自分自身の真実の姿にほとんど気がついていません。たとえば、たった今、自分が呼吸をしているのは、自分が頑張っているからなのだろうか。心臓が動いているのは、自分が動かしようと思っただけだろうか。そんなことは、自分自身で知ることが出来たとしても、心臓は、黙々と自分の役割を果たしてくれています。何故なのでしょう。自分の考えや思いを超えたところの自分が、そうさせているのです。自分には、自分が普段思っている自分を遥かに超えた自分があります。自分が思っているよりも、それは遥かに崇高で偉大な自分です。けれども私たちは、自分のことをあまりにもちっぽけで、取るに足らないどうでもいい存在だと思っていたりするので

す。私たちは自分の本当の偉大さというものを忘れてしまっています。自分の偉大さとは、いったい何だったのでしょうか。

偉大さとは、「永遠で、不滅なるいのち」です。それは、お釈迦様が教えてくださった「いのちの真実」です。生まれて、老いてゆき、やがて病となり、死に至る。そう思い込んでいた私たちの「いのち」が、生きる、死ぬなどと分けることなどできない、完全で何の制限もない「偉大なるいのち」だということ。大宇宙と同じ「いのち」を自分が生きていくということ。

だから、自分が偉大でなかった瞬間は、片時もありません。自分がどんなに大きな失態を犯した時、自分がどんなに意地悪な行ないをしてしまった時も、自分がどんなに深い悲しみのどん底に落ち込んだ時も、自分はずっと偉大であり続けていました。「偉大なるいのち」がこの自分を通して、人生を経験し

ています。どんな経験にも、そこには必ず何かしらの意味があります。目的もあるはず。偉大なる自分」が、何かを知るために、何かを経験するために、この人生を経験しているのです。

私たちは誰しも、できれば困難な人生ではなく、平穩な毎日を望んでいることではないかと、そう思っています。そう思うのは、実は私たちが自分の偉大さから遠く離れてしまっているから

です。何事もない人生を、「偉大なるいのち」が望んでいませんか。「偉大なる自分」は、何をしにこの世界にやって来たのでしょうか。退屈しにやって来たのでしょうか。そんなはずはない。私たちは「偉大なるいのち」としての自分が、自分自身の偉大さを発揮したいからこそ、今、ここに生きています。それなのに、私

たちが自分の可能性に飛び込み、挑戦し、経験しないのなら、たとえ自分がつねに偉大であったとしても、その偉大さを発揮することはないでしょう。

今、自分はどんな人生を選んでいくのでしょうか。自分の「偉大なるいのち」の望みを本当に理解して生きていくだろうか。自分の偉大さを引き受けるという、その決断が出来ているだろうか。

本当の自分は「どこまで偉大なる自分」なのですか。だから、力がある。勇気がある。優しさがある。何もかも、すべて持っている。

さあ、あとはそれを使うだけです。「偉大なる自分」としての今を、精一杯に生きていきましょう。

仏教語散歩

「縁起」

私たちは「縁起が良い」「縁起が悪い」という言葉を日常よく使っている。「吉凶のきざし」というような意味で使われているが、縁起は本来は仏教の根本的な教えのひとつとされる大切な用語である。チューリップの花が咲くという結果

(果) には球根という原因(因) が必要であるが、球根だけでは花は咲かず、土壌や光、水分、肥料などのさまざまな条件(縁) が必要である。このように、すべてのものには、必ずそれを生んだ因と縁があり、それを因縁生起(縁起) というのである。物事の成り立ちには、因と縁と果が複雑に関係しあい影響しあっている。自分ひとりですべてのものはなく、他の多くのものの力や恵みを受けて、私たちは生かされているのである。

私も「さんわ」で建てました

日出店

由布市 庄内町 高岡 佐藤 篤正 様



我が家のお墓は、家から2〜3分のところに地区墓地があります。佐藤一族のお墓が6〜7基あります。昨年の4月熊本地震の際、震度6弱の強い揺れでお墓はほぼ原形がわからないほ

ど壊れてしまいました。それで、親戚の知り合いがお墓のさんわさんだったので、うちも一緒に頼むことにしました。

突然の事なので、新規に建てる土地の選択、時期的なこと等

家族で話し合いながら進めていきました。

新規のお墓も年内には出来上がりました。この際、あちこちに

点在していた古い個人のお墓も、新規のお墓の横に並べてもらいました。これならもう安心です。

幸い家の方は何事もなく、静かな日常を取り戻せた感じです。大変お世話になりました。

森町店

大分市松岡毛井 村谷 昭三 様 (前のお墓)



(改修後)



私の叔母(家系的には遠い親戚に当る)が東京に出て、随分前から帰ってこなくなり、そのうち亡くなりました。それで、私の方で掃除、花など上げて、見ていました。

が、私ども夫婦も年がいきまして草取りなどお墓の手入れが大変になりました。その上、この前の地震でお墓が傾き、どうしたものかと考えていましたが、子供に迷惑をかけるわけにもいかず今回基礎からすべて改修しました。出来上がって見に行き、こんなに綺麗になるとは思いもせずビックリしています。これならばあとに残したとしても子供たちも安心だと思えます。向こうの親戚の先祖も喜んでいると思います。これで私たちも一安心です。

三和さん

ありがとうございました。

